

令和6年2月15日会議概要

第1 日時

令和6年2月15日（木）午前9時10分から午前11時45分までの間

第2 出席者

増田委員長、在田委員、森委員、森田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

鹿児島県公安委員との意見交換（2月8日）

委員から、「サイバーセンターの視察を終えた鹿児島県公安委員と意見交換を行った。コロナ禍明けで初めての視察が、京都府警のサイバーセンターと聞いて誇らしく思った。全国から注目を集めているという意味で大変ではあるが、引き続き日本警察の最先端という位置づけを維持できるようにお願いしたい。」旨、発言があった。

2 議題

(1) 令和6年春の主な組織体制整備等について

警務部長から、令和6年春の主な組織体制整備の概要について説明があり、関係規定の一部改正について審議の上、了承した。

(2) 学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」の特殊詐欺被害防止プロジェクト成果発表イベントの開催について

生活安全部長から、昨年6月に立ち上げた、学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」の特殊詐欺被害防止プロジェクトに関し、2月20日、キャンパスプラザ京都において、近隣の大阪、兵庫の学生防犯ボランティア団体を招いた成果発表イベントを開催する旨、報告があった。プロジェクトの活動としては、府警の取組と連動することで、ATMの利用限度額引き下げをされる方が大幅に増加する等一定の成果が得られたほか、今回のイベントで、学生が実体験をもとに作成した啓発チラシや動画を紹介する。また、学生同士の意見交換やイベント後に合同で街頭啓発活動を行って、今後の活動活性化につなげていきたいと考えている旨、説明があった。プロジェクトで制作したチラシや動画は、京都府警察のYouTubeや大学、行政機関等におけるデジタルサイネージで放映する。

委員から、「初の試みと聞いた。今回のイベントで他府県の学生とのつながりができれば、点と点が面に広がって、より幅広く活動ができると思う。よろしく願います。」旨、発言があった。

(3) ミニ広報紙コンクールの実施結果について

地域部長から、2月1日に審査が行われたミニ広報紙コンクールの実施結果について報告があった。25警察署から92作品の応募があり、審査の結果、レイアウトの良さだけでなく、地域住民に身近な記事が掲載される等わかりやすく、かつ広報効果が期待できる作品

が、警察本部長賞、地域部長賞に選ばれた。今後もこうした広報媒体を活用して安全・安心のための情報を府民に提供していきたいと考えている旨、説明があった。

(4) 京都市長選挙違反取締りの総括について

刑事部長から、京都市長選挙違反取締りの総括について報告があり、文書掲示違反等2件の警告を行った旨、説明があった。

(5) 京都マラソン2024に伴う交通対策の実施について

交通部長から、2月18日、京都市内において開催される京都マラソン2024に伴う交通対策について報告があった。車両通行止めや中央線変移を行うなどの交通規制により選手の走路を確保するほか、長時間の規制になるため、広域う回対策を実施するなど約400人体制で対策を行うとともに、主催者側による交通総量抑制や住民説明等の対策により、事故のないようしっかりと対処する旨、説明があった。

委員から、「大変有名なイベントであり、事故のないようよろしくお願いします。」旨、発言があった。

(6) 集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例の許可状況について（1月申請分）

警備部長から、1月中に申請が許可された「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づく、集会、デモの状況について報告があった。

(7) レスキュー競技会の開催について

警備部長から、機動隊や管区機動隊以外で災害時に初動対応に当たる警察官の対処能力の向上を図ることを目的に、3月12日、警察学校においてレスキュー競技会を開催する旨、報告があった。各警察署及び女性特別機動隊による3人1チーム、全26チームが参加するもので、風水害対応ゾーン及び震災対応ゾーンでの競技をレスキュー技能指導員が審査する旨、説明があった。また、今春警察学校に入校予定の学生の見学も予定しており、今後は警察官採用勧奨活動にも寄与できるようにしたいと考えている旨、説明があった。

(8) サイバー対策本部の設置について

サイバーセンター長から、本年春の人事異動発令日に設置するサイバー対策本部について報告があった。京都府警では、昨年サイバーセンターを設置して高度な技術を悪用したサイバー犯罪の取締りはもとより官民連携による被害防止対策を推進してきたが、日進月歩のサイバー情勢に的確に対処するため、府警全体の人的基盤、対処能力をより一層強化し、更に強固な部門間連携と各部への支援を目的として、サイバー部門を生活安全部から独立させて、サイバー対処を専属で担当するサイバー対策本部を設置して府民の安全・安心を確保すること、またサイバー対策本部には、重要インフラ事業者等を狙ったサイバーテロ対策などを担当するサイバー攻撃対策課を追加し、対策本部設置日には、発足式の実施を予定している旨、説明があった。

(9) 監察案件（2件）

首席監察官から、監察案件2件について報告があった。

3 個別決裁

(1) 「連合京都2024春季生活闘争勝利総決起デモ」の許可申請について

警備部次長から、3月1日に実施される「連合京都2024春季生活闘争勝利総決起デモ」

の申請状況について説明があり、審議の上、申請を許可した。

(2) 公安委員会宛て苦情について（処理1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出に関して、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

4 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、19件の行政処分を審議した。

5 個別報告

(1) 警察本部長自己申告

本部長から、令和5年度下半期人事評価記録書（業績評価）の自己申告の内容について報告があった。

(2) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。